

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2026 年 6 月 3 日作成 第 1.0 版

研究課題名	NDB(ナショナルデータベース)オープンデータを用いた泌尿器科領域における日本の保険医療治療の変遷に関する観察研究
研究の対象	本研究は、厚生労働省のホームページに NDB オープンデータとして公表されている集計値を対象とします。 具体的には、2014 年度（第 1 回 NDB オープンデータ）から本研究実施時点で公開されている最新年度までに、日本国内で算定・調剤された泌尿器科領域の対象診療行為および対象医薬品の集計データを対象とします。
研究の目的	本研究は、厚生労働省が公開する NDB(National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups/レセプト情報・特定検診等情報データベース)オープンデータを用いて、2014 年度以降の日本における泌尿器科領域の手術術式および薬物治療の実施状況とその経時的変遷を、記述的に明らかにすることを目的とします。
研究の方法	厚生労働省 NDB オープンデータ公開ページ (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177221.html) より、各年度の公開ファイルを取得し、観察項目を収集します。 個人の情報は特定できないよう加工されており、負担になることはありません。
研究期間	西暦 2026 年 7 月 7 日（研究機関の長の許可日） ～ 西暦 2027 年 12 月 31 日 情報の利用、提供を開始する予定日：西暦 2026 年 7 月 7 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる 試料・情報の項目	【情報】NDB オープンデータから以下の情報を収集します。 ・泌尿器科領域の手術術式別の年次実施件数、術式の分類別件数、泌尿器科関連医薬品の年次処方・調剤数、公開されている範囲での都道府県別件数・性別・年齢階級別件数、月別件数など
試料・情報の授受	使用するデータは公開時点で既に個人が特定できないよう加工し集計化されています。 情報は、厚生労働省 NDB オープンデータ公開ページから公表ファイルをダウンロードして取得します。第三者との個別の情報授受は行いません。
個人情報の管理	本研究で使用するデータは個人情報を含まない公開集計データのため、個人を特定することはできません。 また、データを管理している NDB オープンデータにおいても個人が特定できないよう加工されています。

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

試料・情報の 管理について 責任を有する 者	当院の個人情報の管理責任者は病院長ですが、その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属市民総合医療センター 泌尿器・腎移植科 河原 崇司
利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。 本研究は、研究責任者が所属する診療科の研究費を用いて行います。本研究における開示すべき利益相反はありません。
研究組織 （利用する者 の範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属市民総合医療センター 泌尿器・腎移植科 （研究責任者）河原 崇司
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。 また、本研究では、個人を特定できる情報を含まないかたちで情報の提供を受けます。当院で個人を特定することができないため、研究利用への拒否の連絡をいただいた際対応いたしかねますことをご了承ください。	
問合せ先 〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 泌尿器・腎移植科 （研究責任者・問い合わせ担当者）河原 崇司 電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-253-1962	